

福知山公立大学 2022 年度入学式 式辞

本日、福知山公立大学に入学されました219名のみなさん、ご入学おめでとうございました。また、これまでご子息・ご息女を育てこられたご家族・ご親族のみなさまにも心よりお慶びを申し上げます。新型コロナウイルスがいまだ収まらないため、本年もご家族・ご親族のみなさまをこの場にお招きすることができないことは残念ではありますが、福知山市長大橋一夫様を来賓としてお迎えして入学式をここに挙行できますことを心より喜んでおります。

先ほど私が入学許可宣言をし、入学生代表の方が宣誓を行っていただきました。これによってみなさんは正式に本学の学生となられたこととなります。では「大学」とはそもそも何なのでしょう。「大学」という日本語は、古代中国の制度を承けた律令制の古代日本から存在していましたが、現在の大学は英語の university の訳語として用いられています。この英語はラテン語のユニヴェルシタス universitas という言葉に由来するのですが、このラテン語の本来の意味には教育や学問といった含意はなく、単に「団体」「組合」「結社」といった一般的な意味の言葉でした。ところが、12世紀末の西欧において、高度な知識・学問を学びたい、教えたいという人びとが自発的に団体を結成したことから、この言葉が特に高度な学問に関わる人びとの団体のことを意味するようになり、それが一般化したのです。そして、ユニヴェルシタスはヨーロッパを超えて世界中に広がり、明治維新後の我が国においては「大学」の名のもとに作られたのです。

大学はこの800年を超す歴史のなかで様々な変遷を遂げましたが、自らの意志でそこに参加する団体・共同体であるというあり方は今でも保たれています。そのことを象徴しているのが、先ほどの入学許可宣言と入学者の宣誓、つまり福知山公立大学という共同体に加わる許可と加入意志の表明なのです。

このように、大学にとって重要なことは参加者の「自発性」あるいは「自由」です。大学での学びはそれに参加する人びとの自発性がなければ成り立ちません。みなさんはこれから福知山公立大学での学びを始めるわけですが、大学のどの授業を受講し、それをどのようにして学ぶかは、みなさん一人ひとりが自分で決めることができるし、決めなければならない。あるいはさらに言うなら、自分にとって成長のための学びは授業以外のところにあると考えるならば、生活の中心を大学の外に置くことさえ、覚悟を決めればできるのです。本年4月から成人年齢が18歳となり、大学は文字通り「大人」の集団となりました。本学はみなさんの学びを全力で応援しますが、みなさんは大人としての責任をとった自発的な学びを自分自身で構想するという覚悟を持ってほしいと願っています。

そして、大学での学びにとって重要な「自発性」は、具体的には「疑う」ことと結びついています。先生方の言うこと、教科書をはじめとする書物に書いてあること、新聞やネットに書いてあること、これらを何の疑いもなく本当のこととして受け入れてしまうことは、大学での学びとは言えない。本当だと思われることを疑い、それを疑うことができる理由を考え、その疑いとその理由を先生方や仲間たちと共有することから、大学での自発的な学びは始まるのです。みなさんの中には、他人の考えに疑いをはさんだり、批判したりすることは何か良くないことだと思っている人がいるかもしれません。しかし、他人の人格を理由なく貶め非難することと他人の考えを疑ったり批判したりすることとは別のことなのです。疑い批判することを通じて、私たちは本当のこと、真理に一步近づくための共同作業に参加することができるし、大学はそのための共同体であると私は考えています。

いま「疑い」について申し上げたことは私の考えですから、みなさんは当然、この私の考えそのものを疑ってみなくてはならないと私は考えています。この学長の言うことは本当なのだろうか、どうか疑い考え始めてください。そこから福知山公立大学での学びを始めたいと願っています。

さきに述べましたように、大学はそもそも学びの共同体ですが、福知山公立大学は「地域のための大学となること」を「福知山モデル」として掲げており、決して「閉じた」共同体ではありません。むしろ、福知山市や北近畿地域の人びとを欠かせない仲間とする大学です。実は、私自身は学長に就任したばかりで、みなさんと同じような福知山公立大学の新生です。これから何が始まるのか、何ができるのか、期待に胸を踊らせています。みなさんもきっと同じ思いだと思います。あらためて、教職員一同は地域の方々とともに、新生のみなさんを歓迎いたします。そして、お一人おひとりが成長し、それとともに地域も発展するために本学はちからを尽くすことをお約束いたします。

本日は、新しい学びの始まりであるご入学、本当におめでとうございます。

2022年4月5日

福知山公立大学長 川添 信介